

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	測定作業		
科 目 名	応用計測		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	4年前期	・ 金曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	14. 4時限（期末試験を除く）		
担当教員名	山光 史哲		
実務経験	有 ・ 無		
授業の目的	交流の電源に対して測定する場合は、抵抗だけでなくインピーダンスの概念も必要になってくる。そこで、インピーダンスの測定をすることで交流回路におけるインピーダンスの理解を深める実習を実施する。		
テキスト	① 学校編集テキスト		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回～第2回	インピーダンスの測定	周波数に対するインピーダンスの変化を実験で確認する。	①p.1~10
	期末試験	実習内容に関する実技試験	
到達目標	交流の電源に対するインピーダンスの考え方を理解し、その測定方法を修得する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		

<p>成績評価基準</p>	<p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>期末試験の点数 80%</p> <p>平常点 20%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。</p> <p>70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点=良とする。</p>
<p>成績評価できない場合の基準</p>	<p>全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が70点未満の場合。</p>